

Topic of town

まちの話題



牡鹿

心一つに「牡鹿音頭」 初めての4校合同運動会



牡鹿地区の小中学校が一堂に会した運動会が、5月16日に牡鹿中学校で行われました。鮎川、大原、寄磯小と同中の児童・生徒計34人が参加し、保護者も加わった綱引きや玉入れ、全員でバトンをつなぐリレー競技などで



さわやかな汗を流しました。合同運動会は少子化を受けて地区のコミュニティスクール(学校運営協議会)が初企画し、最後は「牡鹿音頭」で住民や来賓を含む会場の全員が輪になりました。

石巻

公園利活用を考えよう

中瀬パークトーク

中瀬公園のこれからを考えるワークショップが5月31日、かわまち交流センターで行われました。「中瀬パークトーク」として8月まで全3回予定し、初回のこの日は市民40人が参加しました。整備中の公園南側2haは官民連携の活動の場としてさまざまな社会実験が行われおり、パークトークでは「川に飛び込む祭りがあってもいい」、「火や水が使える場所にしてほしい」といった利活用のアイデアが出されていました。



北上

交通ルールを守りましょう!

北上小中学校で啓蒙活動

交通ルールの呼びかけのため5月9日・16日の2日間にわたり、河北地区交通安全協会北上支部の役員が北上小中学校で交通安全啓発活動を行いました。のぼり旗を立て、そろいのベストを着用した支部長をはじめとする関係役員が参加し、交通安全啓発チラシや飲料を配布しながら、交通安全を呼びかけました。当日は多くの学校関係者や児童・生徒、保護者が交通ルールを再確認する機会となりました。



桃生

収穫楽しみ「べにはるか」

親子でサツマイモ苗植え

桃生育て支援センターキッズホームを利用する親子が5月14日、近くの畑でサツマイモの苗植えを体験しました。子育てボランティアどんぐりの会メンバーである森山清枝さんの畑を借りた行事で、今年で7年目になりました。植えたサツマイモはねっとり系の「べにはるか」です。参加した親子は、小さなシャベルを使って苗を植えていき、秋の収穫を楽しみにしながらたっぷりの水を与えました。



雄勝

雄勝の伝統芸能一堂に

伝承へ「若葉祭」初開催

地元の郷土芸能を集めた「おがつ若葉祭」が6月6日、雄勝体育館前で開かれました。東日本大震災と人口減少の影響で困難に直面した文化の継承と、若葉である子どもたちの育ちを願って、住民自治組織の「おがつ100年会議」が初企画しました。地元から伊達の黒船太鼓と雄勝法印神楽、胴ばやし獅子舞の各保存会が演技を披露して観客の拍手を浴び、口内鬼剣舞保存会(岩手県北上市)も特別ゲストとして盛り上げました。



河北

夏はやっぱり上品山だね

繁殖牛の放牧開始

三輪田にある市営上品山牧場で5月15日、繁殖牛(雌)の放牧が始まりました。夏場を涼しく広々とした牧草地で過ごすことでストレス軽減につなげ、今後の出産に備えて足腰を強くします。放牧期間は10月23日(金)までの161日間で、牛を預けた畜産農家にとっても労力の低減になります。初日は19頭がトラックで運び込まれ、所定の検査の後、牧場に放たれました。今後の健やかな成長が期待されます。



河南

「ジンタ」で盛り上げ

北村小最後の運動会

今年度で140年以上の歴史に幕を閉じる北村小学校で5月16日、最後の運動会が開かれました。かつての運動会を盛り上げた「大沢楽隊」のジンタ演奏が約16年ぶりに復活し、競技に挑む児童41人を懐かしくも軽快な音で励ました。同楽隊は昭和初期に誕生した北村大沢地区の農民バンドです。メンバーの高齢化もあって東日本大震災後に自然消滅しましたが、プロの演奏家を招いて1日限りの復活を果たしました。

